

カルメル霊性センター（月刊）

1999年（平成11）5月号

99.5

霊性センターニュース

133号



霊性センターカルメル

断想(137)

ヘンリー・ナーウェン(12)

キリスト教霊性史の中における聖人たち(1)

フォコラーレ、ユースより

詩

諸々の企画について

お願い



# 靈性センターカルメル

## 1. 聖書深読黙想会

(1)上野毛聖テレジア修道院 (黙想)(1999年黙想会年間スケジュールのページを  
ごらんください)。

(2)宇治聖テレジア修道院 (黙想) (1999年黙想会年間スケジュールのページを  
ごらんください)。

### (3)名古屋教区聖書深読会

#### 1.日本カトリック研究センター

〒466-0834 名古屋市昭和区広路町隼人30 TEL.052-831-5037  
FAX.052-831-5317

日時：4月10日(土) 夕食～11日(日) 昼食

#### 2.宇治テレジア修道院 (黙想)

〒611-0002 宇治市木幡御蔵山39-12

日時：10月2日(土) 夕食～3日(日) 昼食

#### 1.2.いずれも

指導：奥村一郎師 (カルメル会士)

連絡：小林 厚 〒465-0058名古屋市名東区貴船3-2115

\* 定員 21名

\* 申込・締切り 実施日2週間前

### (4)大分聖テレジア修道院 (黙想)

指導：奥村一郎師

日時：10月27日(水) 夕食～28日(木) 昼食

連絡：富田恵子 〒870-1125 大分市上宗方1803-3 TEL.0975-41-4012

### (5)聖書深読箇所 (通信) 原則として月の第2日曜日

1/10 主の洗礼 マタ 3:13-17

2/14 年間第6主日 マタ 5:17-37

3/14 四旬節第4主日 ヨハ 9:1-41

4/11 復活節第2主日 ヨハ 20:19-31

5/9 復活節第6主日 ヨハ 14:15-21

6/13 年間第11主日 マタ 9:36-10:8

7/11 年間第15主日 マタ 13:1-23

9/12 年間第24主日 マタ 18:21-35

10/10 年間第28主日 マタ 22:1-14

11/14 年間第33主日 マタ 25:14-30

## (6)通信聖書深読

朝日カルチャーセンター（東京新宿）が通信講座のなかに『聖書深読』を組み入れてくださることになりました。ご希望の方は下記にご連絡ください。

連絡：戸張由美子 〒163-0201東京都新宿区住友ビル 私書箱22

[註]「聖書深読法の生いたち」（奥村一郎）。オリエンス宗教研究所出版。参加者は持参下さい。定価 1000円。下記に直接ご注文下さい。尚、3冊以上注文されれば、20%引きになります。

記

オリエンス宗教研究所

〒156-0043 東京都世田谷区松原2-28-5 TEJ.03-3322-7601

FAX.03-3325-5322

(7)カルメル在俗者会黙想会（年間スケジュールのページをごらんください。）

## 2. 聖書と念祷の集い No.8

星野正道神父（毎月1回）

- ・日 時：5月29日（土）3：30～
- ・場 所：上野毛教会・信徒会館 26号室
- ・テキスト：神との親しさ（2）『キリストの対神徳』伊達カルメル会訳、聖母文庫 500円。上野毛教会売店にあります。
- ・急に変更になることもありますので数回ご出席になってみてその後、継続しようと思いいになる方は連絡網に入っていたいただければと思います。  
連絡網に入っていらっしゃらない方は、土曜日の午前9時30分から11時30分間に修道院の受付に 電話 をして変更がないのをたしかめてからお出かけください。 TEL.03-3704-2171 カルメル会修道院受付 久岡
- ・その他、夏休み、冬休み、春休み などのお知らせはこの霊性センターニュースに掲載いたします。
- ・なお、この集いは前半約40分の講話と後半約45分の沈黙の祈りで構成されています。
- ・また、この集い終了後、5時30分から6時まで、全世界の人々の為に祈る神の民の祈り「教会の祈り」、
- ・私たち一人一人を母の愛をもって見守る聖母マリアへの祈り、「サルヴェレジーナ」
- ・主の受肉と十字架を通しての復活を賛える「お告げの祈り」、そして
- ・希望者には主御自身の御体をいただく聖体拝領が続きます。これらにもご自由にご参加ください。

そして大都会の中のオアシスをこの修道院で探り当てましょう。

### 3. はじめての沈黙の祈り

残念ですが、これは終わりにいたしました。

4

## T. T. クラブ

～10代・20代の  
青年たちの集い～

カルメル会で10代・20代の青年たちの集い『T. T. クラブ』を行っています。このクラブの特徴は、現代の話題を使って、お互いの話を聞く、自分の意見を話す、また伝わってくるものを感じ取る、自分の感性を表現するというを中心に置きます。その中で、お互いの神様から頂いた“宝”を発見し、よりよく人々と共に生きていく可能性をさがしていければと願っております。

ぜひ、参加してみてください。わたしどもスタッフは心からお待ちしております。

- 第19回 4月10日(土)「新しい生命」
- 第20回 4月24日(土)「パラダイム転換」
- 第21回 5月 8日(土)「力強いヘルパー」
- 第22回 5月29日(土)「コンパッション」
- 第23回 6月12日(土)「エコノミー」
- 第24回 6月26日(土)「バンクエット・愛餐会」

\*時間 いずれもP.M.7:00からP.M.9:00まで

\*対象 10代・20代の青年たち

\*スタッフ カルメル会士

\*場所 カトリック上野毛教会 信徒会館 1F

\*プログラム

7:00-7:20 はじめの集い

みんなで賛美歌を歌うetc.

7:20-8:20 分かち合いの時間

分かち合いによりお互いの宝を発見する時間

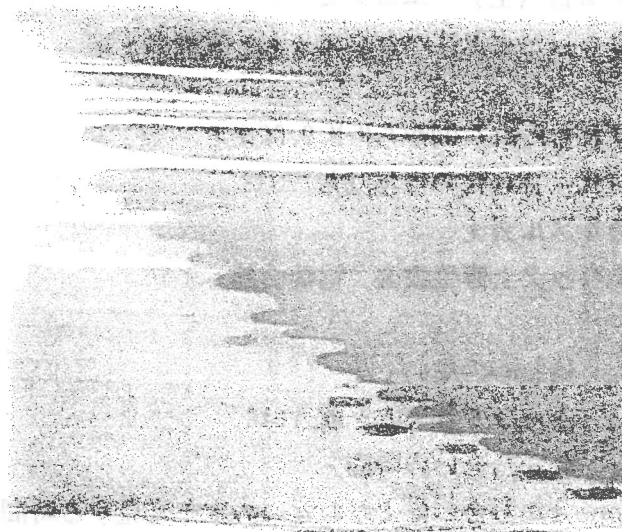
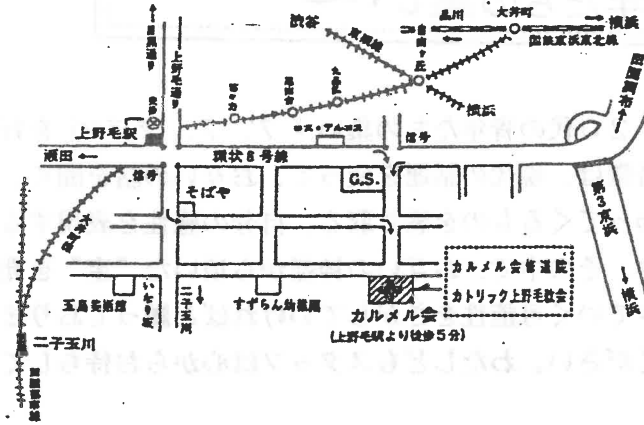
8:30-8:50 祈りの時間

賛美の祈り・沈黙の祈り・祝福。

9:00

解散

〒1580-0093 世田谷区上野毛2-14-25 TEL 03-37-4-2171



1999年 カルメル会東京・上野毛聖テレジア修道院（黙想）

## 黙想会年間スケジュール

### 1. 信徒と奉献生活者のための個人指導黙想会

スタッフ 星野正道師、Br.原 造（以上カルメル会）

Sr. 中川享子（ケベックカリタス会）、他

(1) 6月 3日（木）4時から12日（土）朝食

(2) 10月22日（金）4時から31日（日）朝食

全期間参加の方優先ですが二泊からの部分参加もお受けできると思います。

詳しくは申込用紙を御請求ください。

### 2. 奉献生活者のための黙想会

(1) 8月22日（日）4時から31日（火）朝食 山田裕於師

(2) 12月26日（日）4時から翌年1月4日（火）朝食 渡辺幹夫師

### 3. 聖書深読黙想会

(1) 1月30日（土）夕食から31日（日）16時30分 奥村一郎師

(2) 5月 8日（土）夕食から 9日（日） " "

(3) 7月 3日（土）夕食から 4日（日） " "

(4) 9月18日（土）夕食から19日（日） " 星野正道師

(5) 12月 4日（土）夕食から 5日（日） " 奥村一郎師

### 4. ウェンズデイ・リトリート スタッフ：星野正道師 Br.原 造

大聖年に向けての準備 「御父の愛に結ばれていのちの共同体をつくろう」

（音楽瞑想、講話、分かち合い、ミサ、etc.）

(1) 5月12日（水）10時から16時

(2) 6月16日（水） "

(3) 7月14日（水） "

(4) 10月 6日（水） "

(5) 11月10日（水） "

5.ウィークエンド・リトリート          スタッフ：カルメル会士

(最初の日の夕食をすませてから集合。どなたでも参加できます。)

- (1) 5月28日(金) 20時から 30日(日) 15時          渡辺幹夫師  
(2) 6月25日(金)    "          27日(日)    "          福田正範師  
(3) 12月17日(金) 夕食から 19日(日) 昼食          チプリアノ師

6.特別企画黙想会

- (1) 5月18日(火) 夕食から 20日(木) 昼食(通い可)    アロイジオ師

以上、1.から6.までの申込はカルメル会上野毛聖テレジア修道院へ。

皆さんが企画なさったグループ黙想会、個人黙想も歓迎いたします。

カルメル会上野毛聖テレジア修道院(黙想)

〒158-0093 世田谷区上野毛2-14-25

TEL. 03-5706-7355

FAX. 03-3704-1764

7.青年黙想会(男女)                                  スタッフ：カルメル会士

- (1) 5月22日(土) 16時から 23日(日) 16時  
希望者には5月21日(金) 20時から始まるプログラムもあります。  
その場合は最初の日の夕食をすませてから集合してください。
- (2) 11月 6日(土) 16時から 7日(日) 16時  
希望者には11月5日(金) 20時から始まるプログラムもあります。  
その場合は最初の日の夕食をすませてから集合してください。

この青年黙想会のお問い合わせ、申込はハガキかFAXで下記まで。

〒158-0093 世田谷区上野毛2-14-25カルメル会

青年黙想会担当神学生          FAX. 03-3704-1764



宇治カルメル会 聖テレジア修道院(黙想)  
1999年 黙想会案内

聖書深読黙想会(一般対象)

5月29日(土)夕食 ~ 30日(日)午後	大瀬高司神父担当
7月10日(土)夕食 ~ 11日(日)午後	奥村一郎神父担当
9月18日(土)夕食 ~ 19日(日)午後	中川博道神父担当
11月27日(土)夕食 ~ 28日(日)午後	奥村一郎神父担当

青年のための黙想

男性のため (高校生以上~35歳まで対象)

カルメル会士

6月12日(土) 5:00PM ~ 13日(日) 4:00PM  
(テーマ) 『アメイジンググレイス(驚くべき恵み) 私をさがす父なる神』  
11月20日(土) 5:00PM ~ 21日(日) 4:00PM

女性のため (高校生以上~35歳まで対象)

カルメル宣教修道女会シスター

5月22日(土) 5:00PM ~ 23日(日) 4:00PM  
(テーマ) 『アメイジンググレイス(驚くべき恵み) 私をさがす父なる神』  
11月13日(土) 5:00PM ~ 14日(日) 4:00PM

中川博道神父

壮年男性のための黙想 (ホットしよう会)

中川博道神父

6月19日(土) 5:00PM ~ 20日(日) 4:00PM  
10月23日(土) 5:00PM ~ 24日(日) 4:00PM

半日の黙想 (一般対象)

中川博道神父

4月22日(木) 10:00AM ~ 4:00PM  
7月1日(木) 10:00AM ~ 4:00PM  
10月28日(木) 10:00AM ~ 4:00PM

幼いイエスの聖テレズ黙想 (一般対象)

伊従信子氏 (ノートルダム・ド・ウイ)

9月30日(木) 4:00PM ~ 10月1日(金) 3:00PM

3泊4日の黙想 (一般対象)

伊従信子氏 (ノートルダム・ド・ウイ)

(テーマ) 『日常生活での神とのかかわり』  
7月23日(金) 5:00PM ~ 26日(月) 昼食

修道女の黙想

7月27日(火) 5:00PM ~ 8月5日朝食	アロイジオ神父
12月6日(月) 5:00PM ~ 12月15日朝食	奥村一郎神父
12月27日(月) 5:00PM ~ 1月5日朝食	中川博道神父



(申し込み問い合わせ)

宇治カルメル会 聖テレジア修道院(黙想)

TEL0774-32-7016/Fax 32-7457

〒611-0002 宇治市木幡御蔵山 39-12

## 東京カルメル在俗者会黙想会

- (1) 5月13日(木)夕食から 5月16日(日)午後集会 チプリアノ師  
(2) 8月 5日(木)夕食から 8月 8日(日)午後講話 ”  
(3) 9月22日(水)午後7時から9月26日(日)朝食 渡辺幹夫師  
(4) 10月15日(金)午後7時から10月19日(火)午前講話 星野正道師  
(10月17日午前講話、午後集会)  
(5) 11月19日(金)午後7時から11月23日(火)朝食 チプリアノ師

◎空きがある場合にはどなたでもご参加になれます。

◎お問い合わせ、お申し込みは永瀬まで(045-562-2296)

### 春の日盛りを越え

蛭田 幼一

また春が来て、桜の花が咲き始めた。少し冷たい風が、汗ばんだ僕の体を通っていった。目の高さより少し上の石垣から、鮮やかな色をしたれんぎょうの塊が、いくつもいくつも現れては消えた。ずいぶん歩いたような気がするが、ほんの僅かだったような気もする。桜の花吹雪散り敷く公園の脇を通り、自らを鼓舞する呪文を唱えながら、春の日盛りを越え。

(筆者は聖書深読・聖書と文藝の集い参加者)

## 1. マリア信心の問題点：中道の原理

奥村 一郎

1987年「マリアの年」にあたり3月25日にだされた、教皇ヨハネ・パウロ二世回勅「救い主の母(Redemptoris Mater)」の趣旨をうけて、同年8月15日、日本カトリック司教団教書、「聖母マリアに対する崇敬」が公けにされた。その最後の章、「聖母への正しい崇敬をたかめよう」の冒頭には次のように書かれている。

「第二バチカン公会議後、聖母崇敬がかったのように盛んでなくなった反面、暗い印象を与える、しかも誇張されたマリア信心が広がっていることも事実です。この両極端を避けて正しい、真にキリスト教的なマリア崇敬を実践することをわたしたちは願っています」

「両極端を避ける」正しい、真にキリスト教的なマリア崇敬というのが、事実、本教書全体を貫くキーワードである。確かに、「過ぎたるは及ばざるがごとし、中庸は徳の至れるものかな」という、中国の賢者孔子の言葉もある。(論語 第六雍也篇29 参照)この「中道の原理」は、論語だけではなく、ギリシャ哲学や、釈迦の教えにもある。例えば、琴の弦の話、あまり強く張り過ぎれば弦はちぎれてしまう。また、反対に弦をゆるめ過ぎれば音が出ないようなもの。この「中庸」又は、「中道」の原理といわれるものは、どこにも当てはまるものだが、特に信仰や信心という宗教的問題においては事が大きくなる。

## 2. マリア信心の中核：一体性の原理—キリストとマリア

キリスト教において最も重要なものは、言うまでもなく「キリスト」自身だが、それに次いで、というよりそれとともに、中核的な存在は、「聖母マリア」である。聖母なしの御子イエスは考えられないし、キリストなしのマリアは、もはやマリアでもない。ナザレという一寒村で、ひそやかに生涯を終わる一人の名もない女性というだけのものになってしまう。マリアの存在とその生涯の意味と価値のすべては、まことの神、まことの人イエス、キリストとの切っても切れない受肉の神秘に根ざしている。一般にも女性の偉大さは、自分自身を生み出し自分を創りあげる偉大さではなく、自らを忘れて他者を受け入れ見守り、育て上げる受容の偉大さであるといわれる。母性愛はその最たるものである。このことからして、イエスとマリアの一体性はキリスト教の実存的原点である。マリア信心の歪みは、まさしく、このイエスとマリアとの一体性の原理が崩れるところからくる。そこでは、マリアの信心過剰によって、聖母マリアの実像が歪められ、女神化されたマリアの虚像が作りあげられてしまう。マリアは救い主イエスの母であって、自身が救い主ではない。真の救い主は、イエス、キリストのみ。マリアは、あくまで救われるべき人間の側にある至高至聖の存在として、キリストの救いの業を共に果たすイエスの「共贖者 (Co-redemptrix)」である。同じくマリアは、イエス、キリストのように自ら「昇天」されたの

ではない。イエスによって「昇天の恵みを受けられた(被昇天)」のマリアとなられ、日々人類の母であり神の母なのである。単独であちこちに現れ、おどろおどろした世の終わりの予言や、地獄の恐怖をもって人間を苦しめるような、イエス離れのマリアなどは明らかに反福音的な悪魔的虚像にほかならない。

上記の「司教団教書」は、次のように結ばれている。

「現代人は今、様々の不安におそわれています。核戦争の恐れ、国際間の不信、失業、将来の見通しの暗さ、理由のない差別、世代間の無理解、孤独感など。また、しっかりした倫理観、価値観を認めないために良心の安らぎを持ってなくなっていることなどです。このような現代特有の不安と悩みにいっそう輪をかけ、さらに、それを利用して新宗教を宣伝することが、流行のようになっていますが、聖母にたいする崇敬も同方向のものと誤解されないよう、万全の注意をはらう必要があります。」(P13-14)

教書は、さらに、実際の正しいマリア信心のありかたを示している。

「最後に聖母崇敬の望ましいあり方をまとめてみます。

主イエス、キリストこそ、わたしたちの唯一の仲介者です。マリア崇敬は、わたしたちをいっそうキリストに近づけ、さらに、父と子と聖霊の神に近づけるものであることを、はっきり認識すること。

聖書特に福音書から、キリストの母として果たされたマリアの役割を学び、それを黙想しながら、幼子の心で聖母との親しさを深めること。

教会の伝統的な聖母信心、典礼や祈り、行事は聖書の教えから生まれており、それと結ばれています。わたしたちの信心も教会の信心を基準にして行うこと。

聖母に対する感情豊かな愛の表現、大衆の心にふれる信心を軽視してはならない、と同時に一人よがりの信心、自己満足を求める信心、教会の主流から離れる信心は避け、また特に、聖母信心を“ふしぎな出来事”と結びつけようとする傾きには警戒しなければならない。子供たちや若者の胸に聖母の姿がきざみこまれ、また家庭の中でマリアが、夫婦、親子の団欒(だんらん)の中におられる、そのような姿こそが教会の願いなのです。

いのち、喜び、希望であるマリア

福音宣教の使命を自覚し、救いの恵みを日本の同胞に伝えるわたしたちに、  
あなたのおん子イエスを示してください

1987年8月15日、日本カトリック司教団」

※ 「カトリック生活」1999年5月号より転載

五月は、聖母の月、また、第二日曜は「母の日」でもある。ちょうど、「カトリック生活」に、マリア信心について書く機会を与えられたので、出版社の了承を得て転載させていただく。

### 神の内に深く根ざすこと

高くそびえる木は、深い根を持っています。深さなしで、ただ高いだけでは、危険です。この世の偉大な指導者たち、聖フランシスコ、ガンディー、マルチン・ルーサー・キング・Jr.といった人々は皆、霊的に深みに根ざしていたために、大衆に対する知名度や影響力や力がありながらも、慎ましく生きることができました。

根が深くなければ、私たちがどのような人間であるかは、すぐに分かってしまいます。けれども私たちが良い評判に執着するならば、自己に対する真の感覚を失ってしまうでしょう。他人の意見に執着することは、私たちがいかに表面的な人間であることを示しています。私たちはそれにまったく固執すべきではありません。お世辞や賞賛によっても生き続けねばなりません。神の愛の内に深く根ざしている人々は、人の賞賛を、それに貼りつくことなく喜ぶことができるのです。

(405)

### 自由は人を引きつける

あなたが内的に自由である場合、あなたは、そのことを知っていようといまいと、他の人々を自由へと招いているのです。自由は、どこであろうと人を引きつけます。男性であれ女性であれ、自由な人は、他の人々が安全だと感じ、そこにとどまりたいと思う空間を造り出します。私たちの世界は、さまざまな特殊事情や要求や必要や義務で満ち満ちていますので、私たちはしばしば、自分に期待されていることが何であるか分からなくなるのです。しかし、私たちが真に自由な人間に出会うならば、そこには期待ではなく、次のような招き、すなわち私たちが自分自身の中に入り、そこで私たち自身の自由を見出すようにとの招きのみがあるのです。

真に内的な自由があるところ、そこに神はおられます。そして神がおられるところ、そこに私たちはいたいのです。

(419)

一キリスト教靈性史の中における聖人たち一

## 『エイレナイオス』

カルメル会助祭 松田 浩一

### 歴史の中の位置づけ

イエス・キリストが十字架の死を遂げた後、その弟子たちが共同体を形成していった。この共同体の任務は、「神の子イエス・キリストの福音」宣教であった。使徒たちは福音宣教のために方々に散らばり、各地でキリスト教共同体を設立していった。使徒の中でも聖パウロの業績は大きい。彼はローマ帝国内の方々に宣教活動を行い、多くの共同体を形成していった。しかし形成された共同体の内外にいろいろな問題が出てくる。その一つに異端という問題があった。キリスト教は本来ユダヤ教の中から生まれてきた。ギリシャ世界、ローマ世界とは一線を引いていたところから生まれてきたもので、ローマ・ヘレニズム世界への宣教に、ローマ・ヘレニズム文化的に適合する方法が用いられてきた。その適合する過程で、いろいろな思想を持った人々・共同体ができあがったのである。その共同体同士の対決の中で、正統と異端というものがはっきり分かれだしていった。この正統と異端の分岐点を明確に表した人物として聖エイレナイオスがいる。

彼は、西暦140年ごろ、小アジア・スミルナで生まれ、リヨンの司教となって202年頃亡くなったと伝えられている。彼は少年時代、スミルナにおいて、司教殉教者ポリュカルポスの影響を受け、この司教から使徒ヨハネの伝統を受け継いだ。マルクス・アウレリスの治世に、リヨンで迫害が起こったとき、エイレナイオスは当地の長老であった。177～8年にその地で、殉教者となったポティウスを継いで司教となった。

エイレナイオスが存命中であった時期の主な異端説は、次のようなものがあつた。

#### 1、マルキオン

マルキオンの説くキリスト教の最大の特徴は、パウロ主義である。彼は『パウロの書簡』と『ルカによる福音書』のみを正典とし、旧約聖書を排除しようとした。すなわち、旧約聖書の神と新約聖書の神と分断し、世界創造した旧約聖書の神は劣ったものであり、この物質界から魂を救う新約聖書の神は善き神として捉え、パウロの中に見出されるペシニスムに極端で単純な形態を与え、狭い捉え方をしていった。

## 2、ウァレンティノス派

ウァレンティノスという神学者の説を推し進めていった派である。ウァレンティノスはエジプト出身で、エジプトのグノーシス主義に傾斜していったユダヤ・キリスト教の影響を受けた。彼の説を体系化したのがブトレマイオスである。エイレナイオスはこのブトレマイオスの説をも反駁している。彼の説は、壮大な宇宙論から展開し、事物の形成も三次元的に解釈し、人間を霊と魂と肉体の三次元に分割し、グノーシス派の人々を霊的な人間と自負している。また、ウァレンティノスの弟子の一人で、マルコという人がいたが、彼は、魔術を行っていた。

## 3、エビオン派

エビオン派は、唯一の神しか認めず、イエス・キリストの神性を認めていなかった。

## 4、モンタノス派

この派は、預言至上主義であり、視幻や個人的な啓示を重視する点にある。このことを極端までに推し進めていったため、教会から離れていった。またこの派は千年至福説を出し、エイレナイオスはそれを取りいれている。千年至福説は、現在では退けていることに注意<sup>1</sup>。

彼は有名な著作『異端反駁』の中で異端の思想を反駁し、全教会が保つ、誰にも明白な使徒の教えの伝承の權威を主張した。この伝承の眞実性は、使徒の職務を委ねられた司教の継承が保証するとし、ペトロとパウロに溯るローマ教会の司教名簿を示すことによって、使徒たちに由来するローマ教会の伝承の優れた起源ないし指導權を主張し、全教会がその信仰と一致するということを強調している。聖書と聖伝から抽出された「眞理の基準」によって二元論に基づく分裂した神理解、キリスト理解を反駁し、唯一の神、唯一のキリスト、神の救いの計画の統一性を説いた。その内容は、父なる神がみことばである御子と聖靈を通して、神

のかたちと類似に従って人間をかたち造り、神の人間教育史ともみなしうる救済史を通じて全人類を完成へと導くものである。キリストは苦しみを受けることができる人間となり、人祖墮罪以降の歴史を刷新統合し、失われていた「神のかたちと類似」の統合性を再建し、新たな救いを開示したという。また洗礼に際して授けられる聖霊は、人間を神の子とし、不滅性を保証し、人間を神の生命に参与させるものとしている。

エイレナイオスは、当時問題となっていた異端との対立に対して、聖書と伝承とに基づいて教会の信仰の根拠づけを提示した。彼のとった態度は司牧的配慮に基づくものであった。彼の有名な言葉である、「生きている人間こそ神の栄光である」という言葉は、異端的な悲観主義を凌駕した、彼の人間への配慮ととることができる。

#### エイレナイオスの著作「使徒たちの使信の説明」<sup>2</sup>

エイレナイオスの著作の中に、「異端反駁」の他に「使徒たちの使信の説明」というものがある。「使徒たちの使信の説明」は、グノーシス主義を論駁するために書かれているものの、論争的なかたちではなく、教会の信仰を正しいものとして積極的に証明しようとしている。

初めに、この著作の相手である「愛するマルキヌス」に対してキリスト教信仰へ促し、信仰によって得た洗礼を想起させる。父と子と聖霊を信じることによって洗礼を受けたことを想起させ、その神の人間に対する慈しみの歴史について、創造からキリストに至るまで語り始める。復活の希望へと招いている。また、キリスト教の啓示の真理を旧約の預言に基づいて裏付け、イエスが救い主であることを証明する。イエスの御昇天後、神との関わりの新しさが述べられ、旧約の律法に変わって信仰と愛に基づく親しさについて語る。それは新しい契約のあり方であり、その契約はユダヤ人以外の人々に及ぶものとして説明する。そしてこの内容は、預言者たちが告げ、キリストが承認し、使徒たちが保管し、全教会が信じる人々に伝えてきたものとして立証する。最後に異端者に対して警戒するように促して終わっている。

このようにエイレナイオスは、この書物の中に人間に対する神の慈しみと関わり、そして人間側の応答について簡潔に書かれているものと感じられる。



## 現代へのアプローチ

エイレナイオスの時代には、多くの知識が存在していた。知識をギリシャ語でいうとグノーシスというが、このグノーシスにも誤ったものとして異端が生じた。エイレナイオスは使徒たちの伝承を正しく伝えることに力を入れたが、現代でもこの伝承は大切なものとして伝えられている。この教会に留保している伝承は、正しく知る必要があるということである。

また、エイレナイオスは、人間を魂と肉体を分裂させて、肉体を軽視することはしないで、統一体として考えている。このことは、第二バチカン公会議の中にも、「肉体と靈魂から成り立っているが、一つのものである人間」<sup>3</sup>として示され、さらに「肉体の生活を軽視することは許されない」<sup>4</sup>とも示されている。しかし、物質界にだけに還元できないとして人間の尊さを述べている。現代の人間の尊厳を考えると、生物学的に人間を捉え勝ちであることに一つの示唆をあたえるものであるし、精神的なものに捉えられて、世の中への極端な軽視にたいしても一つの示唆をあたえるものである。

またエイレナイオスは、人間を創造からキリストの背丈にまで導く教育者として神を捉え、その神の慈しみを表してもいる。人間に示される神の両手、「御子と聖霊」の役割はその神の慈しみの現われとして示されている。エイレナイオスも司牧者としてこの神の慈しみと共感しながら生きていこうとしたものと考えられる。この神の慈しみの共感、一人一人に対する慈しみの共感、私たちキリスト者も持たなくてはならないものではないかとも考えられる。

### <注>

1) 千年至福説は、教会内において決して好意をもって受け入れられておらず、1944年に検邪聖省は、「緩和された千年至福説」を安全なものとして教えるべきではない、と判断した。『カトリック聖書新注解書』（エン

デルレ書店, 1976), p 1633

2) 塩谷 惇子訳による「使徒的宣教の立証」(『エイコーン』第9号〔1993〕51-88頁, 第11号〔1994〕52-88頁)の分割の仕方は、A、神と被造物・墮落 (No. 1-16)、B、贖いの歴史 (No. 17-42)、C. 旧約におけるキリスト (No. 43-85)、D. 新約におけるキリスト (No. 86-100)としている。

また、小林稔、小林玲子共同訳による「使徒たちの使信の説明」(『中世思想原典集成1 初期ギリシャ教父』平凡社, 1995, 197-281頁)の分割の仕方は、本書の執筆意図 (No. 1-3)、キリスト教信仰の基本的な教えがアダムからキリストに至る救済史の観点で述べられている (No. 4-42)、キリスト教の啓示の真理を旧約の預言に基づいて裏付け、イエスが救い主であることを証明する (No. 43-97)、結論に異端に対する警告と「異端反駁」を参照するよう指示している (No. 98-100)。

この二つとも1907年の初版、ハルナックの100章分割に依拠している。

以上を参考にしてみている。

3) 現代世界憲章 No. 14

4) 同上

<参考文献>

J. ダニエルー, 『キリスト教史 初代教会』, 上智大学中世研究所 編, 講談社, 1980

ルイ. ブイエー, 『キリスト教神秘思想史 教父と東方霊性』, 上智大学中世研究所 編, 平凡社, 1996

エウセビオス, 『教会史 2』, 泰 剛平 訳, 山本書店, 1987

アダルベール. アマン, 『教父たち』, 家入 敏光 訳, エンデルレ書店, 1973

『教育思想史Ⅱ 古代キリスト教の教育思想』, 上智大学中世研究所 編, 東洋館出版社, 1984

『中世思想原典集成1 初期ギリシャ教父』, 上智大学中世研究所 編, 平凡社, 1995

『カトリック聖書新注解書』, A. ジンマーマン・浜寛五郎 編, エンデ

ルレ書店, 1976

鳥巢 義文, 「エイレナイオスの救済論における聖霊の役割」, 南山神学  
別冊1号, 1982

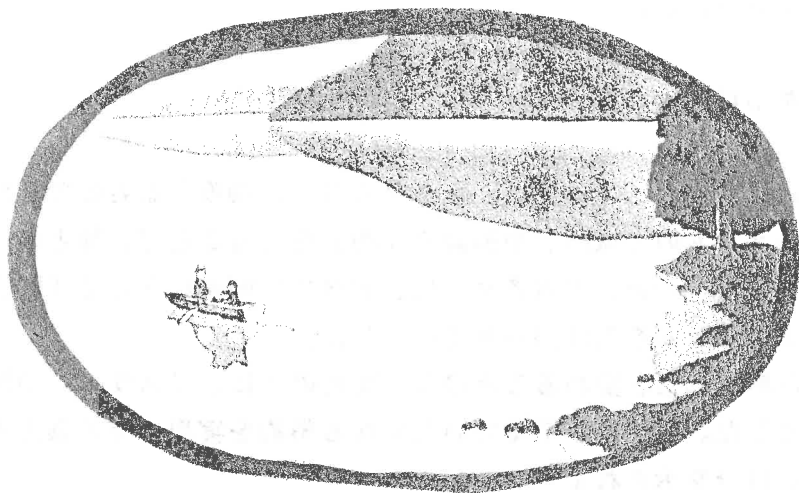
鳥巢 義文, 「神と人類との慣れ親しみ」, 南山神学 別冊2号, 1983

鳥巢 義文, 「霊の注ぎ」, 南山神学 別冊3号, 1984

鳥巢 義文, 「みことばの受肉と人類の神化」, 南山神学 第7号, 1984

エイレナイオス, 「使徒的宣教の立証」, 塩谷 惇子訳, エイコーン第9号, 1993

エイレナイオス, 「使徒的宣教の立証」, 塩谷 惇子訳, エイコーン第11号, 1994



## 十字架のキリストを通過して

わたしは門である。わたしを通過して入る者は救われる。

その人は、門を出入りして牧草を見つける。

イエスの話に耳を傾けていた人々にとって、「門」は身近なたとえでした。旧約のヤコブの夢にも出てきますし（注1）、神様が特に愛されたエルサレムの古い「城門」（注2）もあったからです。イエスはここで、「これは主の城門。主に従う人々はここに入る」という詩編118・20の言葉を踏まえつつ、そこに新しく豊かな意味を与えておられます。

イエスは「救いの門」でおられます。この門を通るなら、私たちは、聖なる宝を自由に得ることのできる「牧草地」に至ります。またイエスは、たぐいなき「仲介者」でおられます。人は、イエスによって、御父の内に迎え入れられます。アンティオキアのイグナチオも言っています。イエスは、御父につながる門であり、この門を通過して、アブラハム、イサク、ヤコブ、預言者や使徒たち、そして教会は、御父の内に入る、と。

わたしは門である…

確かに「門」のイメージは、ユダヤ人の心に染み入るものでした。彼らは、聖なる都エルサレムの「城門」や神殿の「門」を通過することで、神との一致や平和を味わっていました。一方、預言者たちは、すべての国々に向けて「門」が開かれている新しいエルサレムを告知らせていました。

神様と結ばれた、変わることはない契約の上に、イスラエルの民の歴史は成り立つものでした。民が待ち望んでいた聖なる契約を実現させる御方として、イエスはここでご自分を示されます。

また「門」が意味するものは、イエスが用いられた、もう一つのたとえに通じるものがあります。「わたしは道である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない」（注3）という言葉です。この道のたとえとあわせて考えると、門の意味も理解しやすいでしょう。イエスは「道」であり、御父、神様に向か

って開かれている「門」でおられるのです。

### わたしは門である…

このみ言葉は、私たちの生活の中で、具体的にはどんな意味を持っているのでしょうか。

福音の中には、このヨハネの一節に関連する箇所がいくつもありますが、ここでは「狭い門」（注4）の箇所に目をとめてみましょう。命に至るため、苦勞して通る門です。

私たちはなぜ、この門を選ぶよう招かれているのでしょうか。

それは、「わたしは門である」と言われたイエスの真意を汲み取り、この言葉を生きるため、光をいただくことができるからです。

イエスが、神様に向けて大きく開かれた門となったのは、いつでしょうか。それは、「天の門」がイエスのためには閉ざされたように思われた時です。まさにその時、イエスは、私たち皆のため、「天の門」そのものになりました。

ですから、十字架上で見捨てられたイエスは、「門」でおられ、この門を通して、すべての人が神様との完全な交わりを生きることができるようになったのです。イエスは、ご自分が「無」となることにより、すべての人を御父と一つに結ばれました。イエスの「無」（それは門で言えば、空間の部分ですが）を通して、人は神様と交わり、神様も人と交わることができるのです。

ですから、見捨てられたイエスは、「狭い」門であると同時に、「広く開け放たれた」門でもあります。私たちは、このことを実際に経験できるでしょう。

### わたしは門である…

見捨てられたイエスは、私たちを御父へと導く「入り口」となってくださいました。

ですからイエスの使命は、すでに果たされたわけですが、私たち一人ひとりも、多くの恵みをよく生きるため、自分の小さな部分を果たす必要があるでしょう。それは、イエスという門に近づき、そこを通して、向こう側に行くことです。では、どうやって？

落胆するようなことに出会ったり、心を傷つけられたり、思いもかけないような

不幸に遭ったり、病気の意味が見出せず苦しむときなどに、私たちはいつも、イエスの苦しみを思い出すことができるでしょう。イエスは、私たちが会うすべての痛み、ほかの数限りない試練そのものになられたからです。

そうです。イエスは、痛みと呼べるものすべての中に、存在されます。私たちの痛み、一つひとつは、見捨てられたイエスという名を持っているのです。

生活の中で会う、あらゆる不安や苦境、暗闇も、自分やほかの人の困難、また私たちを取り囲む人類の痛みの中にも、イエスの姿を見出すよう努めましょう。すべての痛みは、イエスにほかなりません。彼はあらゆる痛みを、ご自分のものとされたのです。

信仰をもって、このイエスに言いましょう。「主よ、あなたにまさる善はない」（注5）と。また、貧しい人や苦しむ人の中におられる「イエスの」痛みを和らげるため、具体的に何かしてみましよう。

こうして私たちは、イエスという「門」を通り、その向こう側で、今まで経験したことのない喜びと、新たな満ち満ちた生活を見出すことができるでしょう。

キアラ・ルービック

注1 「そうだ、ここは天の門だ」（創世記28・17）

注2 詩編24・7参照

注3 ヨハネ14・6参照

注4 マタイ7・13参照

注5 詩編16・2参照

フォコラーレ本部

〒168-0071 東京都杉並区高井戸西1-11-4

TEL. 03-5370-6424

FAX. 03-5370-3055

## 諸所の企画についてのご紹介

“限りある資源を大切に”の環境アセスメントへの協力のため、読者の方々へご参考になればと思いご紹介、掲載しておりました研究会・行事等のお知らせを下記のように簡略させていただきます。どうかご理解いただきますように。各企画に興味のある方、時間のゆるす方は、各々の所へ詳細をお問い合わせの上、ご利用、ご参加下さい。

### I ノートルダム・ド・ヴィ (いのちの聖母会)

場 所：〒177-0044 東京都練馬区上石神井4-32-35 TEL&FAX, (03)3594-2247

\*\*\*キリスト者の生活を深めるための祈りの集い\*\*\*

#### テレーズの祈り

紀元2000に向かって.....

教会博士リジューの聖テレーズと共に祈る

### II スズラン・ハウス

女性のアルコール依存症、やせ症、摂食障害の経験者とその家族のためのウェルビーイングを研究開発実践する施設。

詳細を知りたい方は、下記へ：

〒192-0041八王子市中野上町4-27-4 TEL 0426-28-3222 井口 貴志

### III 風の家

指 導：井上 洋治 師 (東京教区司祭)

〒169-0042 東京都新宿区西早稲田 3-17-23-903 TEL 03-3204-4453

山根 道公 機関誌『風』編集者

〒169-0042 東京都新宿区西早稲田 3-5-10-101

Tel・FAX 03-3205-6923 詳細はお電話でお尋ね下さい。

### IV 生命山カトリック別院

場 所：〒865-0133熊本県玉名郡菊水町蜻浦1391-7 TEL.0968-85-3100

A：黙想会：(a) 8月 1日(日)～ 9日(月) 8泊9日 [ 開始：16時  
(b) 8月16日(月)～24日(火) " ] 終了：朝食後

B：研修会：(b) 5月 2日(日)～ 3日(月) ミサと茶道

C：諸宗教対話活動 仏教者との交流

上益城郡教栄寺 (c) 6月27日(日) 検討中

D：21世紀にむけて第4回 宗教者平和の祈りの集い

日時：10月3日(日)午後 場所：生命山カトリック別院

E：祈りの集い：テーマ -三位一体のイコンの観想-

5月13日(木) 7月8日(木) 10月14日(木) 12月9日(木)

6月10日(木) 9月9日(木) 11月11日(木)

このほか、個人、グループでも静修、黙想会などができます。

お申込みは生命山別院へ

### V 瞑想の家 東光庵

指 導：ヨハネ・ウマンス師 (神言会)

場 所：〒166-0004 東京都杉並区阿佐ヶ谷1-38-13 TEL 03-3336-0735

詳細問い合わせは電話で。

VI リーゼンフーバー神父による研究会 (1999~2000年)

- ①キリスト教入門講座 日時：金曜日 18:45 ~20:30  
場所：聖イグナチオ教会信徒会館3階アルペホール  
対象：キリスト教を学び、信仰を自分自身の問題として考  
えたい方どなたでも。予備知識は必要ありません。

各会のテーマ

- 5/7 神認識の道—理性と経験を通して  
5/14 創造された世界—人間存在の根拠と自然の意味  
5/21 歴史と信仰—神と人間との出会い  
5/28 新約聖書の神理解—主なる父 ● 5/29-30 黙想会

- ②神学読書会 日 時：毎月第2・第4 (第5)水曜日 18:30~20:30  
場 所：SJハウス第5会議室 要申込み、定期的参加  
対 象：キリスト教の基本的知識を持っている20代~30代の方。

- ③聖書研究会\* 日 時：毎月第1・第3水曜日 18:30 ~20:00  
場 所：S.J.ハウス第5会議室  
内 容：日曜日の聖書箇所を読んで一緒に考える。どなたでも。  
\*日 時：木曜日 12:40 ~13:25  
場 所：上智大学7号館 316号研究室  
内 容：新約聖書を1章ずつ読んで話し合います。

- ④坐禅会 日 時：月曜日 17:20~20:10 木曜日 18:00~20:30  
場 所：クルトゥムハイム1階左の部屋 3回坐り、間に講話があり。  
どなたでも。遅刻、不定期参加も可。

- \* 6月18日(金) 20:30 ~20日(日) 16:00  
関 8月12日(木) " ~19日(木) "  
接 10月29日(金) " ~11月3日(木) "

秋川神冥窟  
1泊2400円程度

- 東2000/2月26日(土) 8:30 ~27日(日) 16:00 上石神井黙想の家 5600円

- 心 関\* 8月3日(金) 17:30 ~9日(木) 13:00 宝塚市①

西 連絡先：①シスター朝山 TEL.0727-59-3742

- ⑤ミサ：水曜日 17:10~18:00 場所：上智大学内クルトゥムハイム1階右小聖堂

- ⑥黙想：水曜日 18:00~18:30 場所：(同上)

(ミサ、黙想、共に (8月を除く))

- ⑦祈りの集い：下記土曜日 13:30~16:00 場 所：S.J.ハウス第5会議室  
講話、黙想、ミサがあります。

5月8日、6月5日、7月3日、8月21日、9月11日、10月16日、11月20日、12月11日、2000年1月8日、  
2月19日、3月4日

- ⑧黙想会：5月29日(土)10時~30日(日)15時、10月9日(日)10時~11日(月)15時、12月4日(土)10時~5日(日)15時  
2000年3月11日(土)10時~12日(日)15時

- ⑨アガペ会：説明会と集い 下記の日13時30~ 20代~40代の信者  
6月12日(土)、10月3日(日)、2000年1月22日(土)

- ⑩クリスマス会：12月18日(土)16:30~ 上智大学かつらぎ会館地下ホール 要申込み  
ミサ : 12月23日(木)14:00~ 上智大学内クルトゥムハイム聖堂



以上、問い合わせ・連絡先 : クラウス・リーゼンフーバー神父  
〒102-8571東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学 S.J. ハウス  
直通電話 03-3238-5124、5111(伝言)、FAX,03-3238-5056

Ⅶ 三位一体の聖体宣教女会 「祈りの家」

場 所 : 〒189-0003東村山市久米川町1-17-5 TEL.042-393-3181 FAX 042-393-2407

“聖書で祈る”

指導 : 雨宮 慧師 (東京教区司祭)

対象 : 女性信徒

日時 : 6月26日(土) 5:30P.M. ~ 6月27日(日) 4:00P.M.

10月23日(土) 5:30P.M. ~ 10月24日(日) 4:00P.M.

2月26日(土) 5:30P.M. ~ 10月27日(日) 4:00P.M.

召命を考える祈りの集い

指導 : 星野正道師 (カルメル会)

対象 : 女子青年

日時 : 7月10日(土) 5:30P.M. ~ 11日(日) 4:00P.M.

11月28日(日) 10:00A.M. ~ 5:00P.M.

2月11日(金) 10:00A.M. ~ 5:00P.M.

聖書研究会 - 雅歌を読む -

講師 : シスターマグダレナ (三位一体会)

対象 : 一般 信徒 お弁当持参

日時 : 11月8日(月) 10:00 A.M. ~ 3:00P.M.

以上 申し込みは、各期日 5日前まで

聖書に親しむ集い

講 師 : シスターマグダレナ

テーマ : 2000年に向けて 御父、御子、聖霊

対 象 : 一般信徒

日 時 : 5月~11月までの最終木曜日 2:00P.M. ~ 3:00P.M. (7.8月はお休み)

キリスト教講座 毎週木曜日 10:00A.M. ~ 11:30A.M.

十字架の使徒職 (司祭のために祈る集い)

対 象 : 信徒、求導者

指 導 : 本会 会員

期 日 : 第一グループ 毎月第2金曜日(2:00P.M. ~ 3:30P.M.)

期 日 : 第二グループ 毎月第1木曜日(2:00P.M. ~ 3:00P.M.)

Ⅶ マリアの御心会 (明泉会)

場 所 : 〒160-0012 東京都新宿区南元町6-2 TEL.03-3351-0297

I. 黙想会 担当 : シスター今村和子

① 聖書深読黙想会 - 主日の福音を中心に -

隔月・日曜日 10:00a.m ~ 5:00p.m.

② 黙想と祈りの集い ……テゼの歌をうたいながら

③ 霊操による祈りの集い

指導：長町 裕司師（イエズス会）

毎月第3土曜日 6:00～8:00p.m.

II ① 聖書会 …詩編を読む…

毎月第1月曜日 10:00～12:00a.m.

② 聖書通読講座

木曜日 6:30～8:30p.m.

IX 聖心会黙想の家

場 所：〒410-1126 静岡県裾野市桃園 198 Tel&Fax. 0559-92-2120

A 祈りの集い（問合せ・申込は聖心黙想の家まで電話/FAXで！）

② 6月4日（金）泊まり～6日（日）午後3時まで  
「エウカリスティア」・・Br. ジュリアノM.O.P.P.

③ 12月10（金）夕食～11日（土）午後5時まで。星野正道師（カルメル会）

● 午後のひととき、静かに過ごしてみませんか？

日時： 毎月 第2土曜日 午後4時～午後5時

場所： 不二聖心のキャンパスにあるどこかの聖堂（四箇所の一つ）  
（当日黙想の家の玄関に表示します。）

内容： 沈黙の祈り

（5/8, 6/12, 7/10, 9/11, 10/9, 11/13, 12/11）

B 黙想会

☆ 8日間または6日間の黙想会

初日の夕食（6時）～最終日の朝食まで。2～3日だけの参加も可能。

③ 7月1日（木）～10日（土） ヘルパー司祭、シスター数名

④ 8月29日（日）～9月7（火）

”

☆ 婦人の黙想会

① 5月10日（月）午後2時～11日（火）午後3時まで

② 10月4日（月）午後2時～5日（火）午後3時まで、

☆ 家族連れの黙想会 ベビーシッターも同時募集！

① 6月19日（土）午後6時～20日（日）午後3時まで

② 10月2日（土）午後6時～3日（日）午後3時まで

C 一日黙想会 講師：カルメル会司祭星野正道

場所：聖心会若宮共同体

日時：5/25、9/7、11/9（以上全て火曜日）

上記Bの☆マークの黙想会およびC一日黙想会のお問い合わせ・お申し込みは：

165-0033 東京都中野区若宮3-9-4 若宮共同体 TEL. 03-3337-3291

聖心会シスター交野（かたの）

X カトリック内観研究会

代 表：藤原直達（大阪教区司祭）

〒111-0053 東京都台東区浅草橋 5-10-5 カトリック浅草教会内

TEL&FAX 03-3862-8876

「カトリック内観瞑想」は沈黙と孤独の中で、自分の身近な人に対する「していただいた事（愛されてきた体験）」「お返しした事（感謝を表す）」「迷惑かけた事（我執）」を年代順に調べる事により、自分の姿を自己洞察し、一方、神の無償の愛を体感します。それは心の回心といやしを生じ、自分の中にある日本的霊性の発見ともなります。 毎日、8～10回の面会と赦しの秘跡とミサがあります。

\* 予約相談は、まずはファックス・手紙でご連絡ください。 \* 予約が決まれば、さらに詳しく場所、申し込み、諸注意、など送ります。

\* 費用は、宿泊食事代に加えて同行者に若干の喜捨を願っています。 \* 持ち物、着替え（楽な着物）洗面道具など。 内観同行司祭 藤原 直達

予 定 表

I 5/16～19 三日間 奈良市  
 J 5/29～6/5 (中止)  
 K 6/13～20 八日間 茅ヶ崎  
 L 7/3～10 八日間 茅ヶ崎  
 M 7/18～24 七日間 奈良市  
 N 7/31～8/7 八日間 茅ヶ崎  
 O 8/18～25 八日間 千葉・白子  
 P 9/11～18 八日間 茅ヶ崎  
 Q 9/25～10/2 八日間 茅ヶ崎  
 R10/9～16 八日間 茅ヶ崎

S 10/24～30 六日間 茅ヶ崎  
 T 11/22～28 七日間 横浜・戸塚  
 U 11/30～12/4 五日間 茅ヶ崎  
 V 12/13～19 七日間 横浜・戸塚  
 W 12/25～30 六日間 茅ヶ崎  
 以下は2000年  
 A 1/14～20 七日間 茅ヶ崎  
 B 2/1～6 六日間 横浜・戸塚  
 C 2/10～16 七日間 茅ヶ崎

また、「イエスと日本人 一心の癒しと内観と福音」の公開講座を、朝日カルチャーセンターでも取り上げて下さいました。

日 時：4月5日～6月21日 全5回（5/3・17は休み）

第1・3・5月曜日 10：00～12：00

受講料：会員12,500円 一般14,000円（入会金不要）

受講料には消費税5%分が加算されます。。

場 所：新宿住友ビル48階 朝日カルチャーセンター（受付は4階）

朝日新聞の文化活動 朝日カルチャーセンター

〒163-0204新宿区西新宿 2-6-1 TEL:3344-1941 私書箱22号

上野毛、宇治、大分、

カルメル会 聖テレジア修道院 (黙想)

聖テレジア修道院 (黙想) は、カルメルの靈性を体験し深めたい方のためのものであります。黙想会、研修会、練成会などに御利用下さい。個人でも団体でも御利用頂けますが、必ず事前に御連絡の上、お申し込み下さい。なお、詳しい御問い合わせは、下記へお願いいたします。

※☎ 158-0093

東京都世田谷区上野毛2-14-25

☎ : 03-5706-7355

FAX : 03-3704-1764

東急、大井町線「上野毛駅」下車 徒歩7分

かみのげ

※☎ 611-0002

京都府宇治市木幡御蔵山39-12

☎ : 0774-32-7016

FAX : 0774-32-7457

京都駅よりJR奈良線：「六地藏駅」下車 徒歩15分

ろくじぞう

おくらやま

京阪バス：六地藏の町並バス停より御蔵山行きに乗り

「西住宅バス停」下車 徒歩5分

※☎ 870-1152

大分市上宗方1800-3

☎・FAX 共：0975-41-4012

大分駅～バスで18分、大分川を渡って明礮橋を右折、

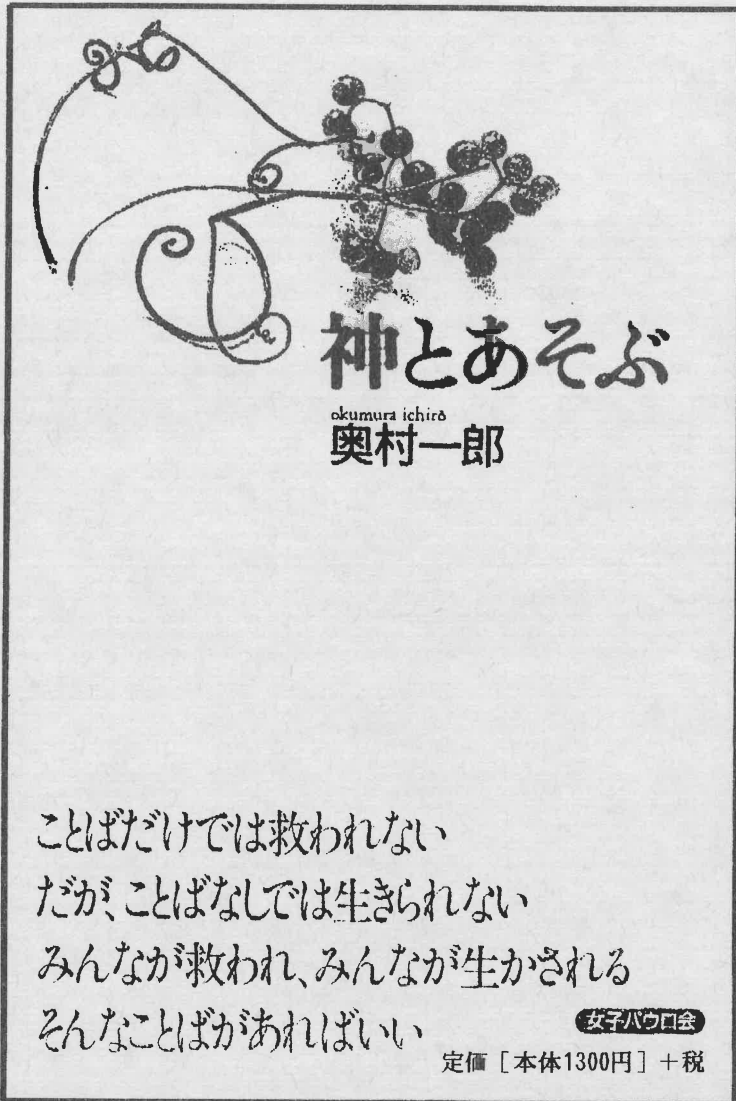
あけがわらばし

男子跣足カルメル修道会

新 刊 紹 介

\* 奥村一郎 著 『神とあそぶ』

日常生活の中での出会い、出来事、気づき、読んだことなどをもとに、複雑な現代社会の中で真の幸福を見いだす道を探ろうとする試み。示唆に富んだやさしいエッセイ。





## お 原 頁 い

投稿下さるときには、だいたい、次のようにしていただけますと幸いです。

1. 締 切 り 毎月10日
2. ①各グループの 目的 或いは 主旨  
②月間 或いは 年間予定：研修、黙想など具体的計画  
③随想、こぼれ話など。「断想」「陽あたり」とか小題をつけて  
④その他 自由ニュースをお送りください。
3. ワープロ。 なお、手書きの場合は早目にお送り下さい。
4. 原稿が長い場合、編集段階で選択したり、数回に分けて掲載させていただく場合があります。お赦してください。
5. 寄稿連絡は星野正道神父宛てにおねがいします。

-----

・ニュース（霊性センターニュース）をご希望の方は 中尾豊子宛 に郵送御希望の月数分の220円切手又は現金を送って下さい。（これには封筒代等が含まれています。）

中尾 豊子 〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台 3-15-5

☎045-941-3566

## あ と が き

「霊性センターニュース」も奥村神父様の時代以来、常に変わらぬご理解とご支援をいただき心から感謝申し上げます。今後もこの小さな種が皆様の暖かなご協力のもとに、すこやかに成長していくようお祈りください。

なお、“一口一円”の呼びかけで始まった献金も、神様の御手の中で大きな助け手、働き手となってきています。ご協力、本当にありがとうございます。

喜びと悲しみ、日々の小さなことがらを通してイエス様が働きかけ、共に生きて下さいますように、お祈りいたします。

カルメル会霊性センター

星 野 正 道

支那の歴史をたどることは、その文化の発展と、政治の統一とをたどることである。この歴史は、古くは殷の書契に始まり、周の春秋、戦国時代の史記、漢の史記、唐の通鑑、宋の資治通鑑、明の資治通鑑綱目、清の御批通鑑輯要、そして現代の歴史学まで、数々の歴史書が著され、その中で、史記、資治通鑑、御批通鑑輯要は、中国の歴史を最もよく記述した歴史書として知られている。

漢代は、漢の武帝の時代に、中央集権的な政治体制が完成し、儒教が国教として採用された。この時代は、中国の歴史の中で最も輝かしい時代の一つであり、その文化の発展は、後の中国の歴史に大きな影響を与えた。

漢代 武帝の治世 武帝の治世は、中国の歴史の中で最も輝かしい時代の一つであり、その文化の発展は、後の中国の歴史に大きな影響を与えた。

武帝の治世は、中国の歴史の中で最も輝かしい時代の一つであり、その文化の発展は、後の中国の歴史に大きな影響を与えた。武帝は、中央集権的な政治体制を完成させ、儒教を国教として採用し、中国の統一を達成した。この時代は、中国の歴史の中で最も輝かしい時代の一つであり、その文化の発展は、後の中国の歴史に大きな影響を与えた。